

国際協力を学び、行動するきっかけをつかもう!

国際協力カレッジ

2020

参加費
無料!

「国際協力で働く」
ってどういうこと?

「NGO」や
「JICA」って
何をしているの?

世界にある
課題の中で私に
「できること」ってある?

写真提供: 松浦史典 / 認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構

そんな疑問を「カレッジ」で解決しよう!
「いま」動かなくて、いつ動く?
さあ、一歩前へ踏み出そう!
世界のために。そして、自分のために。

●日時:

2020年

12月19日(土)

13:00~17:30

※オンラインの接続・入出は12:30~13:00にお願いします

●方法: オンライン(ZOOM)

●定員: 70名(先着順)

●対象: 国際協力分野に関心がある人

●参加費: 無料

●主催: 独立行政法人 国際協力機構 中部センター
(JICA中部)

●事務局: 特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

※この紙は再生紙を使用しております。

ヒトから
学ぶ

1時間目

(13:20~14:50)

3人のセンパイから
「国際協力の仕事」を
学べる「講義」

活動
を知る

2~3時間目

(15:00~16:50)

SDGsについて
理解を深め、
コロナ禍における
NGOの取り組みを知る





写真提供: 松浦史典/
認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構

国際協力を学び、行動するきっかけをつかもう!

国際協力カレッジ 2020

「国際協力カレッジ」は、国際的な課題に関心を持つ人びとが、国際協力の現場の声に触れ、考え、動き始める「学び」と「きっかけ」の場です。名古屋NGOセンターとJICA中部との協働により、2006年にスタートし、今年で15回目になります。

「国際協力カレッジ2020」の概要

今回は新型コロナウイルスの対策により、初の全面オンラインによる開催となります。

前半は国際協力の現場で働いている先輩3人の話を聞きます。後半は、SDGsについて理解を深め、中部地域にて活動中のNGOによる「活動紹介」を行います。

年に一度の機会です。コロナ禍で、これからのことをじっくりと考える機会がある「いま」だからこそ、このイベントで、あなたに合った国際協力との多様な関わり方、働き方を見つけてみてください。



プログラムの内容・スケジュール

13:00~13:05 (5分)	あいさつ【JICA中部】	13:05~13:20 (15分)	オープニング
------------------	--------------	-------------------	--------

ヒトから
学ぶ

講義

「誰ひとり、取り残さない」世界を実現するために ～仕事としての“国際協力”の関わり方～

1時間目 13:20~14:50 (90分)

3人の先輩の話を聞き、自分の将来を描こう!

国際協力を仕事にすることの楽しさ、魅力、やりがい、苦労、そして関わり始めたきっかけなどをお話します。

★ゲスト

JICA

よしだ えりな
吉田絵里菜さん
JICA中部
市民参加協力課 調査役



2009年にJICA入構後、管理部門、地域部(ミャンマー担当)、ヨルダン事務所(イラク向け事業等)を経て、2019年12月よりJICA中部市民参加協力課に配属。現在は、広報、なごや地球ひろば運営、開発教育、草の根技術協力事業、JICA海外協力隊事業等を担当。

企業

くらた ひろのぶ
倉田浩伸さん



KURATA PEPPER Co., Ltd. 社主、カンボジアオーガニック農業協会会長、カンボジアペッパー&スパイス連盟理事、カンボジア日本経済同友会理事

1969年三重県津市出身。亜細亜大学経済学部卒業、1992年学生ボランティアとしてカンボジアに派遣。1994年カンボジア農業調査事務所を立ち上げる。1997年現地法人化。2005年カンボジアに胡椒専門店「KURATA PEPPER」開店2013年日本支店設立。現在に至る。

NGO

くまざわ ゆきこ
熊澤友紀子さん
認定NPO法人
アジア車いす交流センター
(WAFCA)



教員を経て米国の大学院で国際教育を専攻。教育分野で国際開発の仕事をしたと考え、アジア車いす交流センターのタイ事務所に就職。タイの障害者支援の現場で実務経験を積む傍ら、インドネシア事業の立上げや中国事業の評価調査に携わる。昨年5月より現職。

14:50~15:00 (10分)	休憩
-------------------	----



うめむら りつき
梅村 菜月さん

大学3年、20歳。インドネシアで孤児院ボランティア、フィリピンで食糧支援ボランティアを経験。3月から「ホープ・インターナショナル開発機構」でインターン。同時に、学生団体で国際協力に関するプロジェクト「OLIVE」を立ち上げる。SDGsや支援方法、様々な国際問題を日々学び、簡単なことから始める国際協力を模索している。

きっかけは8月に初めて行った海外ボランティアでした。インドネシアの孤児院でボランティアをしましたが、無力感ややるせなさを抱えたまま帰国。ボランティアに1回行っただけで終わらず、継続した支援が誰かの為になると感じました。

支援先を検討したいという思いで「国際協力カレッジ」を見つけました。NGO団体と個別にお話する時間があることを知り、すぐに参加を決意。数ある団体からお話を聞きましたが、「ホープ・インターナショナル開発機構」の活動に魅力を感じ、現在インターンをさせて頂いています。

参加者

これまでの
カレッジを
ボランティア
を始めた参

活動を知る

「SDGsについて理解を深めよう」

2時間目 15:00～15:20 (20分)

国際社会が協力して取り組む「SDGs (持続可能な開発目標)」。
SDGs とは何か、JICA中部「なごや地球ひろば」の地球案内人がみなさんをガイドします。
※SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、15年間で達成する17の目標を掲げています。

活動紹介 「多様な国際協力の活動を知ろう！ ～コロナ禍におけるNGOの取り組み～」

3時間目 15:20～16:50 (90分)

多様な国際協力のあり方を聞いて自分の興味・関心を深めよう。
コロナ禍における活動地域の様子と変化、それにともなう各団体の取り組みをお伝えします。

教育・子ども

A (特活) アイキャン

フィリピン・イエメン・ジブチ等で危機的状況にある子どもたちの生活改善に取り組んでいる国際NGO。何かを「与える」活動ではなく、そこに住む人びとと「ともに」活動することで、世界中の子どもたちが享受できる平和な社会の実現を目指している。

B (特活) キャンヘルプタイランド

タイやカンボジアの貧困地域に暮らす子ども達の教育環境改善を目的に活動している。日本人スタッフはすべて無給ボランティアだが、名古屋で活動し始めて25年の団体である。

地域開発

C ハンガーゼロ(一財 日本国際飢餓対策機構)

世界の貧困・飢餓問題の根本的解決を目指し、アフリカ、アジア、中南米で活動している。飢餓に苦しむ地域のリーダーや次世代の人財育成を通して、地域住民自らが農業や教育などの課題に取り組みつつ課題解決能力を上げられるようにサポートしている。

D 認定NPO法人 ホープ・インターナショナル開発機構

安全な水の供給と衛生教育を軸に、アフリカや東南アジアの最貧困地域にて自立支援活動を行なっている。国内では、講演などを通じて当団体の活動の認知を広め、支援者を増やすためのチャリティー活動をメインに活動している。

環境

E (特活) チェルノブイリ救援・中部

チェルノブイリ原発事故の被災者支援を1990年から開始。汚染地域の子供、事故処理作業員、医療機関に対し、医薬品・医療機器支援や、ミルク支援、精神的支援としてのカードキャンペーン等を行う。2011年からは福島第一原発事故の被災地支援も実施。

人権・平和・医療

F (公財) アジア保健研修所(AHI)

アジアの草の根の人たちが、協力しあひながら、自分たちで課題に取り組むことによって、健康や生活を守ることができるように働きかける保健ワーカーの育成をおこなっている。日本と日本以外のアジアの学び合いを参加型の研修を通して進めている。

G (特活) セーブ・イラクチルドレン・名古屋

小児がんや先天異常など難病・疾患に苦しむイラクの子どもたちを救うため、イラク医師の医療研修機会の創出、およびイラクへの医療支援を行っている。「できる時に、できる人が、できる事をやろう」が当会の支援活動コンセプト。

16:50～16:55 (5分)

休憩

4時間目 16:55～17:20 (25分)

全体会・ふりかえり *グループワーク(ブレイクアウトルーム機能を使用予定です)

17:20～17:25 (5分)

閉会のあいさつ【(特活)名古屋NGOセンター】

17:25～17:30 (5分)

アンケートについて・今後の案内

*プログラムは予定となります。万一、変更があった際はご容赦ください。

声の

国際協力の
きっかけに、
インター
参加者の声



よこえ たかひろ
横江 隆弘さん

「国際協力カレッジ2019」に参加して、そこで出会った「キャンヘルプタイランド」の坂さんと翌年2月にカンボジアへ視察渡航。帰国後、「キャンヘルプタイランド」の活動に参加している。

JICAの青年海外協力隊への参加を目指して模索している最中に、「国際協力カレッジ」のことを知り参加しました。

何もわからない状態だったけれど(今もあまり成長していないのですが)、よかったです。どうぞと誘われて仲間に入れてもらっています。NGOとかとても難しく感じてしまいがちですが、いろいろな活動があって、活動への関わり方も様々であることがカレッジに参加してよく理解できました。

もし国際協力とか大きすぎなくて、何かはじめてみたいとか、何かやってみたいと思っているなら、ちょっぴり勇気を出してカレッジを覗いてみるといいと思います。何かきっかけが見つかるかも。

「国際協力カレッジ2020」のお申し込み方法

受付期間:2020年11月4日(水)13:00~12月15日(火)15:00

*但し、定員70名になり次第、締め切り

【申し込み方法】

ウェブサイト上のイベント専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。自動返信にて、オンラインイベント(ZOOM)のリンク先をお知らせします。自動返信メールが届かない場合は、迷惑メールボックスに入るケースもありますのでご確認し、届いていない場合は事務局までご連絡下さい。

イベント専用
URL・QRコード
はこちら



<http://nangoc.org/information/20201219.php>

*ウェブサイトをご覧になれない場合:以下の項目①~⑧をメールでお送りください。その際、タイトルは「国際協力カレッジ2020 参加申込」としてください。原則、1週間以内に返信をいたします。お電話の場合は口頭でお伝えください。

①お名前(ZOOMイベントの表示名) ②ご所属(あれば) ③年代(任意) ④お住まいの市町村 ⑤電話番号(携帯も可) ⑥E-mail ⑦このカレッジに期待すること ⑧どこでこの情報を知りましたか?

*いただいた情報は、本件イベント以外に使用いたしません。但し、本件フォローのため、主催者よりメールをお送りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目3番地 YWCAビル7階

TEL:052-228-8109 (電話受付時間:火~金曜 13~17時)

E-mail:info@nangoc.org <http://www.nangoc.org>

▼イベントの専用リンク先アドレス(ZOOM)について

- ① 専用フォームからのお申し込みには自動返信にて、またメールでお申込み頂いた方には、原則、お申し込み後一週間以内に、イベントのリンク先のアドレス、ID、パスワード(ZOOM)をお送りいたします。万一、1週間以内にメールが届かない場合はご一報ください。
- ② イベントの「リンク先アドレス(ZOOM)」、ID、パスワードについては、セキュリティ上、他者への共有・転送はお控えください。(イベント自体の広報・共有・転送は大歓迎です)
- ③ ZOOMの設定方法などの詳細につきましては、受付確認メールにてお知らせいたします。パソコンやスマホなどの操作方法や参加者側の接続環境の不備に対するフォローはできかねます。事前にご準備をお願いします。

▼お問合せ・キャンセル・イベントの変更等について

- ① 定員がございますので、キャンセルされる場合は、できるだけお早めにご連絡ください。(当日は連絡が混み合うことが予想されますので、当日のキャンセル連絡への即時返答は難しくなります。予めご了承ください。)
- ② 万一、イベント内容やリンク先などの変更があった場合は、ウェブサイトへの掲載や登録いただいた連絡先にご連絡する場合がございます。ご参加される前にチェックをお願いいたします。
- ③ ご不明な点がございましたら、事前にご連絡下さい。当日のお問合せについては混み合うことが予想されますので対応が難しくなる場合があります。予めご了承ください。



さあ、世界見学へ。

JICA中部

なごや地球ひろば

JICA中部が運営するなごや地球ひろばは、国際協力やSDGsについて学ぶことができる体験型施設です。



食の
ゾーン

カフェ クロスロード

アジア、中東、アフリカ、中南米など、世界各国のお料理が楽しめるいただけます。海外旅行が好きな方におすすめ!



買物
ゾーン

フェアビーンズ

コーヒーやチョコレート、雑貨など、フェアトレード商品が購入できるショップ。買い物を通じた国際協力ができる場所です!



体験
ゾーン

基本展

「SDGs-未来につながる17の約束-」

世界の課題やJICAが各国で実施する取り組みを写真や体験アイテムでご紹介しています。

アクセス

名駅・ささしま/
名古屋駅から徒歩13分

開館 10:00-17:00

休館日 月曜、年末年始

時間を短縮して開館しています。
最新の開館情報はウェブサイトをご覧ください。

▼公式WEBSITE▼

